

# 新・小堀遠州の書状

小堀 宗実 著

B5判・一六六頁

定価：本体四、二〇〇円（税別）

ISBN978-4-7842-1886-8

【二〇一七年三月刊行】



「綺麗さび」とよばれる新たな境地を茶道にもたらした小堀遠州。

その書状からは、古田織部、松花堂昭乗、伊達忠宗ほか、当時の高名な文化人や大名などの広いネットワークがうかがえる。

紫衣事件で配流の身となった澤庵宗彭、処罰を主導した金地院崇伝の双方とも親しく、それゆえの苦悩など、江戸初期の社会とそこで生きた遠州の人となり、遠州茶道宗家十三世小堀宗実家元の解説により読み解く。


## ●内容目次●

はじめに 凡例	1 東海寺和尚宛 歳暮歌入りの文
	2 春雨庵宛 御詠三首御礼
	3 竜光院宛 大坂の陣出陣先より
	4 江月和尚宛 若菜歌入りの文
	5 板倉周防守宛 茶の湯招待への御礼
	6 木下長嘯子宛 松の葉に歌入りの文
	7 朽木民部宛 茶道具鑑定
	8 朽木民部少輔宛 百合の御礼
	9 細川忠利宛 粗餐への招待
	10 岡将監宛 大膳の事
	11 岡将監宛 井戸茶碗の事
	12 池田光政宛 御指図報告の返書
	13 沢宗也宛 椿の接ぎ木依頼（椿の絵入り）
	14 佐川田喜六宛 將軍御見送りの事
	15 岡本言当宛 寿ぎの歌への返歌
	16 竹腰正信宛 椿の御礼
	17 伊達忠宗宛
	18 清水道閑宛 一月二十八日付
	19 清水道閑宛 利休物相茶入盆の事
	20 松花堂昭乗宛 三幅対の事
	21 竹腰正信宛 掛物表具之義見事につき
	22 竹腰正信宛 掛物の表具出来の事
	23 阿部備中守宛 ろくとうと干し魚の御礼
	24 阿部豊後守宛 こんにやく答（到）来御礼
	25 竹腰正信宛 御掛物表具の事
	26 松花堂昭乗宛 生野茶入の事
	27 牧野佐渡守宛 鶴の羽箒の事
	28 遠州・織部往復書状
	29 金地院崇伝宛 金地院作事の事
	30 澤庵宗彭宛 流配餞別の文
	31 水野兵九郎宛 在中庵茶入添文
	関係人物生没年

こぼり・そうじつ…遠州茶道宗家十三世家元、公益財団法人小堀遠州顕彰会理事長、東京茶道会理事長など役職多数。

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-533-6860 fax.075-531-0009  
<https://www.shibunkaku.co.jp> E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行：思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	新・小堀遠州の書状	本体4,200円(税別)	ISBN978-4-7842-1886-8	
お名前		tel			
		e-mail			
ご住所	〒				
送本方法	代引（書籍代＋消費税＋送料400円を現品と引き替えにお支払い、代引手数料は弊社負担） ◎ 最寄りの書店・ネット書店でもお買い求め、お取り寄せできます ◎				

## 佐治重賢氏所蔵 小堀政一関係文書

佐治家文書研究会編

佐治重賢氏所蔵文書(総点数7千点)のうち、近世前期政治史に重要な位置を占め、茶人としても著名な小堀政一(遠州)に関わる文書を三部構成で翻刻・収載。国奉行・代官の史料としては希有のものであり、近世初期の幕領支配の様子を極めて具体的に知ることができる。また、茶人としての政一を知るうえでの豊かな情報を含んでいる。

▶A5判・390頁/本体8,800円 ISBN4-7842-0921-2

## 講座 日本茶の湯全史 全3巻

茶の湯文化学会編

本講座は、日本文化史の中に位置づけられた茶の湯の展開を、茶の湯文化学会が総力をあげて俯瞰する。時代を輪切りにしながら見る本編と、茶の湯の重要な要素を通史として見渡す特論からなりたち、最新の研究成果をふまえて茶の湯を通覧する、まったく新しい概説書。

【構成】①中世/②近世/③近代  
▶46判・平均340頁/各本体2,500円

## 茶の湯とイエズス会宣教師 中世の異文化交流

スミットニー祐美著

戦国時代、来日したイエズス会宣教師たちは、在日中、文化や人々の生活習慣などの情報収集と分析を行い、日本人にふさわしい宣教の糸口を模索していた。その一つが、日本人の間で盛んに嗜まれていた茶の湯であった。茶の湯とキリスト教との関係を、ローマイエズス会文書館より収集した本邦初公開の史料をもとに、詳細に明らかにする。

▶46判・248頁/本体4,600円 ISBN978-4-7842-1863-9

## 茶と室内デザイン

小泉和子編

日本にもたらされた喫茶文化により、室町時代の書院造、大名居館、侘び茶による草庵風茶室など、和風住宅の室内意匠がつくられた。茶が日本住宅の室内意匠にあえた影響について、それぞれの専門の立場からの論考を収録し、豊富なカラー図版とともに、茶道と室内デザインの関係性を考える一書。

▶B5判・224頁/本体3,500円 ISBN978-4-7842-1808-0

## 花道の思想

井上治著

第一部では歴史の流れを概括しながら「出生」(草木の自然な形姿)「花矩」(人為的な意匠)「修行」(挿花を通じての求道)という観点で「花道思想の構造」を整理。第二部では、近代の花道家が新たな社会・文化・学術的環境のなかで、花道文化の伝統とどのように向き合ったのかを「風流」と「芸術」という概念に注目して考察する。

▶46判・260頁/本体1,800円 ISBN978-4-7842-1839-4

## ※公家茶道の研究

谷端昭夫著

茶道文化学術賞(主催 大日本茶道学会)

近世における「公家茶道」を取り上げ、その独自の形態、実態と特徴、茶道史における位置づけを考察し、茶が持つ文化の内実を深める。

【内容】序章 公家の茶の研究/第1章 公家茶道への序章/第2章 公家茶道への道一寛永の公家たち/第3章 公家茶道の形成/第4章 流儀化と伝授/終章 まとめにかえて/史料編「後西院御茶之湯記」  
▶A5判・394頁/本体6,500円 ISBN4-7842-1265-5

## 御茶湯之記 予楽院近衛家熙の茶会記 茶湯古典叢書◎

名和修・筒井紘一・熊倉功夫監修/川崎佐知子校訂

近衛家熙が自家に客を招いて催した茶会の晩年24年間(正徳3年[1713]~享保21年[1736])の記録で、家熙側近の者がそのつど記し遺したものである。茶会の日付と場、客人、道具、献立が漏らさず書き控えられ、308会にも及ぶ茶会が記録されている。脚注・補注・年譜のほか解説3篇、茶人・道具・献立篇の索引も併載。

▶A5判・610頁/本体15,000円 ISBN978-4-7842-1756-4

## 金森宗和茶書

谷晃校訂

茶湯古典叢書④

底本には金沢市立図書館藤本文庫所蔵の『茶道の書ホ』を用い、校合には陽明文庫蔵の『金森茶道故実』を、陽明本と国会本(流布本)の追加分は別途収録。流布本の一つ藤本文庫蔵『宗和流茶湯書』にみられる付箋と朱書書込・墨書書込も該当箇所に掲げる。茶会記は現在所在判明のものすべてを収録し、傍注のほか校訂注・語注を適宜挿入。

▶A5判・490頁/本体12,500円 ISBN4-7842-0944-1

## 熊倉功夫著作集 全7巻・既刊4冊

熊倉功夫著

分野を軽々と飛び越えて新たなパースペクティブを示し続けてきた著者が、自選によってまとめる。

【全巻構成】①茶の湯一心とかたち/②茶の湯と茶人の歴史/③近代茶道史の研究/④近代数寄者の茶の湯/以下未刊 ⑤寛永文化の研究/⑥民芸と近代/⑦日本料理文化史

▶A5判・平均480頁/各本体7,000円

## 「千種」物語 二つの海を渡った唐物茶壺

竹内順一/岡佳子/ルイス・コート/アンドリュー・M・ワツキー編

13、4世紀頃に中国で生まれた壺が、東シナ海を渡って日本に伝わり、16世紀に茶の湯の道具として「千種」の銘を与えられ、名物となった。——唐物茶壺「千種」の歴史的な変遷を糸に、「千種」をめぐる多様な文化事象を緯糸に織りなされた、壮大な物語。日米中研究者による、歴史、美術、考古学、科学など多角的な最新の研究成果。

▶A5判・284頁/本体3,200円 ISBN978-4-7842-1870-7

## 売茶翁の生涯

ノーマン・ワデル著/樋口章信訳

本書は、僧侶を脱却して、しかも俗臭に堕ちない禅僧で煎茶の祖とあおがれる売茶翁(1675~1763)の生涯をまとめた初の伝記(英語版)を年代順に整理し、書きあらためた日本語訳版。伊藤若冲や池大雅ら当代文化人を魅了し、時を超え人びとの魂をゆさぶってやまない売茶翁の生きざまや思想をまとめる。

▶A5判・256頁/本体3,500円 ISBN978-4-7842-1845-5

## 利休の茶の花 いけばなと茶の湯

桑原宗典著

「いけばな」と「茶花」の根源にある共通性を明らかにし、いけばなが利休に与えた影響と、その花に込められていた思想を探る。また、初代池坊専好と利休との交流を、史料を精緻に比較することで描き出し、これまでほとんど論じられてこなかった利休の花の成立背景を池坊の花の流れと共に考察する。

▶A5判・206頁/本体3,700円 ISBN978-4-7842-1837-0

## ※茶道と恋の関係史

岩井茂樹著

恋歌と茶道の関係を茶書や茶会記に探る。茶会の掛物のほか、茶道具の銘に隠された「恋」を紹介し、なぜ恋歌が問題となり、また使われることもあったのかを明らかにする。【内容】茶書中に見られる恋への言説/恋の茶会—恋の掛物をなぜ使うのか?銘の世界—隠された恋の役割/恋とは何か?—恋歌の本意と、千家流茶道にとっての恋歌

▶A5判・232頁/本体3,800円 ISBN4-7842-1313-9

## 片桐石州茶書

谷晃・矢ヶ崎善太郎校訂

茶湯古典叢書⑦

本書は、流布本を整理し、その基本に位置すると考えられる[怡溪系]、多くの系統の中で比較的内容が豊富な[醉翁系]、そして千家の立場から『石州三百箇条』の内容について述べた異色の[白系]の三系統からそれぞれ底本と校合本を選び翻刻・校合。

▶A5判・658頁/本体15,500円 ISBN978-4-7842-1758-8

## 茶譜 全2冊

谷晃・矢ヶ崎善太郎校訂

茶湯古典叢書⑤

近世茶書としては最も大部にして体系的なものの一つである茶譜(全18冊)は、利休・織部・遠州・宗和・宗旦のそれぞれの茶匠とその時代の茶の湯を、確かな情報に基づいて茶の湯の分野ごとに再編集したものである。西尾市岩瀬文庫蔵本を底本とし、現存する諸本と校合して全編活字化。挿図についても別冊の写真版で全て収録。

▶A5判・総924頁/本体20,000円 ISBN978-4-7842-1528-7

## ※古田織部茶書 全2冊

市野千鶴子校訂

茶湯古典叢書②③

利休の高弟・七哲の一人で織部流茶道の開祖である古田織部の茶道秘書を集成。一巻には「宗甫公古織へ御尋書」及び「古田織部正殿開書」を収め、二巻には「織部百ヶ条」「織部茶会記」「数奇道次第」「古織茶湯記」「古織伝」「茶之湯六宗伝記三」の6篇を収録。

▶A5判・平均400頁/本体①6,200円・本体②8,200円

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年2回無料でお送りしています。電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。 ※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。